

駒澤大学2-1拓殖大学

後半終了間際に拓大の攻撃
を全員で死守する駒大
(撮影：清村 亮太)



退場者を出しながらも
逆転勝ち！

10月5日 13時50分 法政大学城山サッカー場	
駒大 2 (0-1) 1 拓大 (2-0)	
得点者 (アシスト)	
【駒】46分 吉岡	【拓】27分 高橋(大森)
【駒】83分 伊藤(碓井)	
KOMAZAWA	TAKUSYOKU
GK①大石 健太(4)	GK①大坪 倫之(4)
DF③田中 雄一(4)	DF②三浦 勇人(3)
DF④平尾 優頼(3)	DF④金子 代祐(4)
DF⑤伊藤 慎人(3))	DF⑥小針 優貴(2)
DF⑬大木 暁(3)	DF③高橋 賢司(3)
MF⑥若山 瞭太(4)	MF⑦川崎 圭亮(2)
MF⑦碓井 鉄平(4)	MF⑭菅原 慶人(3)
MF⑩小牧 成亘(3)	MF⑮唐澤 翔(4)
MF⑳吉岡 雅和(1)	(86分)⑯郡司 博信(3))
(50分)⑱友廣 壮希(4))	MF⑱大森 勇希(2)
FW⑳立石 忠之(2)	MF⑲菅能 将也(3)
FW㉑糸井 康裕(4)	FW⑰内野 裕太(4)
(78分)㉒溝口 祐真(3))	S U B
S U B	GK⑫河田 拓馬(4)
GK⑫檜山 昇吾(4)	DF③丸山 卓也(3)
DF⑭川岸 祐輔(3)	DF⑲小島 俊貴(2)
MF⑰キム デセン(1)	MF⑳片 慎吾(2)
MF⑲児玉 卓也(1)	MF㉑末松 光(3)
FW⑱小牟田 洋佑(3)	FW㉒沼倉 類(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	玉井朗
【シュート】10:8 【GK】5:8 【OK】4:5 【直接FK】13:24	
【間接FK】3:1 【主審】佐藤 敬太郎 【観衆】273人	
警告(C)／退場(S)	
35分 糸井 C4 繰返違反	46分 大坪 C3 異議
51分 大木 C1 反スポーツ	
53分 大木 C2 ラフ → CS 警告2回	
58分 伊藤 C1 反スポーツ	
69分 友廣 C2 ラフ	
76分 平尾 C1 反スポーツ	

危機的不利な状態でも勝利 これぞまさしく駒大！

今節は、悪天候の中、拓殖大と試合が行われた。前節の法政大戦で、4-4とあと1歩ながら引き分けてしまい、爆発した攻撃力とは裏腹に、4失点とDFが崩壊してしまった。必ず勝利して東京国際大との勝ち点を縮めていきたい駒大は、怪我でベンチ外の山本と現得点王の小牟田をベンチに下げ、前々回決勝打を挙げた立石と糸井とFWを変えてきた。10分にCKで、糸井がフリーの状態ヘディングするも、枠を外す。その後、攻防の展開の中、27分、セットプレーでGK大石が前にもヘディングで合わせられ、先制点を許した。この悪い流れの中、31分に吉岡が左サイドを切り込んでクロスをクリアされるも、若山がミドルシュートを放つも、GK正面に行ってしまう。36分にはコーナーから糸井がヘディングで合わせるが、ゴール上に行ってしまう。39分、カウンターから田中が前線にロングパスから糸井が落とし、立石がDFを背負いながらも、1対1でシュート。セーブされるも、こぼれ球に小牧がシュートを打つも、またもやGKに憚れる。最後にこぼれ球に吉岡がヘディングでシュートを放つも、

ゴール前にいたDFに守られる。何度もチャンスを作るが、なかなか点を決められない。前半は1点ビハインドとなった。後半開始早々に、DFが当たったボールを吉岡が同点ゴール。53分にはアクシデントに見舞われる。大木が2枚目のイエローカードで残り10人となる。すぐさま先ほど得点した吉岡に代え、DFの友廣を投入。その悪い流れが続き、59分に伊藤がPAでファールをしてPKを与えてしまう。絶体絶命という状態で、先ほど2回も1対1を止めた大石がPKをスーパーセーブ。68分、途中交代の友廣がインターセプトから1人で右サイドからDFの位置からオーバーラップし、シュートを放つも、弾かれる。そしてついに83分にFKからのセットプレーを碓井から伊藤がヘディングで決め、逆転。その後、10人というハンデを背負い、ボールを長く支配されながらも、懸命に守り続け勝利を手にした。スペインのようなパス回しをする拓大に対して、66分と73分にもシュートを打たれるも大石の大活躍でチームの窮地を救った。彼がいなかったら負けていたであろうと言えるゲームだった。次節は前回負けた朝鮮大に勝つことを願う。(釘宮 和希)